

はじめ新報

**Vol.
23**

今年の夏は天候不順が続きましたが、皆様には如何お過ごしでしょうか。日頃より親身のご指導、叱咤激励をいただき、感謝申し上げます。

はじめに

すとともに、原発事故対策スキームの遂行やエネルギー基本計画の策定に汗を流しております。

また昨年は天皇陛下の退位を巡る議論が活発化し、退位特例法の成立を見ましたが、今後の皇室人口の減少を食い止めるため、女性宮家創設など皇室制度の改革について、太いに議論して行きたいと思います。

支持率低下の原因

ところで去る八月三日の内閣改造により、「第三次安倍再々改造内閣」がスタートしました。同じ総理大臣が衆議院総選挙を経る度に、内閣の名称は一次、二次となります。選挙と選挙の間で内閣を変えると、改組、再改造、再々改造となります。物々しい内閣の名称は、如何に安倍政権が長くなってきたかを、如実に示しているとも言えます。

政権が長く安定していることは、国民にとって悪いことではあります。せんが、それは政権が国民のために働いていることが大前提です。安倍ノミクスを中心とする経済再生の取り組みは、一定の効果をもたらしていますが、地方経済をはじめ、ま

支持率低下の原因

すとともに、原発事故対策スキームの遂行やエネルギー基本計画の策定に汗を流しております。

また昨年は天皇陛下の退位を巡る議論が活発化し、退位特例法の成立を見ましたが、今後の皇室人口の減少を食い止めるため、女性宮家創設など皇室制度の改革について、大いに議論して行きたいと思います。

お陰様で私は引き続き自民党憲法改正推進本部長代行として憲法改正の最前線に立ち、秋の臨時国会で自民党案を示せるように、党内議論をリードしております。消費者問題調査会長としては、加工食品の原料原産地表示の義務付けや、大人の年齢を十八歳に引き下げるなどに伴う、契約トラブルの解消策、さらには電力・ガスの改革委員長として

だまだの感があります。もう一段の踏み込みが必要です。

一方で長期政権は畠作用を伴うことが少なくありません。安倍政権も例外ではなく、「安倍二強」により生じた奢りの姿勢から、森友、加計問題が引き起こされ、閣僚や議員の不祥事も相次ぐこととなりました。支持率低下と都議会議員選挙の大惨敗はこれらを反映したものに他なりません。

内閣改造の評価

一方で長期政権は副作用を作り、それが少なくありません。安倍政権も例外ではなく、「安倍一強」により生じた奢りの姿勢から、森友、加計問題が引き起こされ、閣僚や議員の不祥事も相次ぐこととなりました。支持率低下と都議会議員選挙の大惨敗はこれらを反映したものに他なりません。

本部としては態勢を強化して、九条に自衛隊を明記すること、緊急事態無償化、参議院合区解消と一票の均差について、党内取りまとめの作業を急ぐこととしました。

が忽落しようが本来憲法改正とは直接関係はないのです。国会が決めること、国民が決めるなどを、これまでも淡々とやつてきたし、これからもやつて行くしかないと考えます。

マスコミの多くは、憲法改正と政局をすぐに結びつけたくなるようですが、国会を舞台として議論すること

憲法改正いよいよ本番

さてこの数ヶ月は憲法改正を巡る総理発言で、右往左往してしまいました。去る六月には次の高寺国会にて。

は「スケジューるありきではない」と軌道修正しました。しかしそもそも憲法改正というテーマは、まず国民を代表する国会が原案を提示し、国民自身が投票して実現するという、



終わりに

たがり全く政局の影響を受けていたことはありません。しかし両者をことさら関連付けて報道するという姿勢は、憲法改正についての国民の真面目な考え方や議論に水を差しかねず、国民世論をミスリードする危険性すら考えられます。慎重な対応を一切に願っています。

荒井新会長より

A photograph showing three men in dark suits and ties standing in front of a large, ornate golden screen. The man in the center is wearing glasses and has his hands clasped together. The man on the left is shaking the man on the right's hand. All three men are smiling. The background consists of several vertical panels of the golden screen, which features some traditional Japanese artwork.

ンを引き継ぐことになりました。歴代会長のお顔を思い浮かべると、その重責に身が引き締まる思いです。青年の会が企画するイベントを通して会員はもとより後援会や女性の会、その他大勢の皆様とのご縁を深め、老若男女一丸となつて元先生を応援できれば幸いに存じます。浅学非才の身ではありますが、一生懸命働くほど宜しくお願ひ申しあげます。

青年の会 会長交代



4月に行われた船田はじめを支援する青年の会総会において、宮崎前会長(右側)から荒井新会長(左側)にバトンが渡されました。



憲法改正国民投票制度の改善に関するシンポジウムに参加しました。旧知の今井一さんが主宰でした。出来る限り公平性を保つことが、投票運動の趣旨に沿うものと主張しました。



青年海外協力隊はじめ、海外ボランティアから帰国した方々の帰国報告会。若い方々から定年を越えられた方々まで、幅広い年齢層です。



田原總一郎氏の進行で座談会がおこなわれました。石破茂議員、小野寺五典議員、平沢勝栄議員とこれからの自民党について語り合いました。



地元JAの皆さまとの意見交換会でした。強い農業になるためには農家の自立が不可欠ですが、生産調整のインセンティブを残すためにも、経過措置をしっかり取らなければなりません。



元志会新春講演会では政治評論家の田崎史郎氏をお招きして、時局講演を行いました。政局やメディアの裏話を披露されました。



新春の集いに、大勢の支持者の皆様にお越しいただき、お陰様で盛大に催すことが出来ました。「健全な保守」を目指して頑張ることをお約束しました。



栃木県ゲートボール選手権大会が、陽南第一公園で開催されました。ゲートボール大会としては最大で、48チーム340名が参加しました。5月には気温が高く熱中症が心配されましたが、流石に選手の皆さんは鍛えておられます。



創始70周年記念、2017少林寺拳法栃木県大会でした。宇都宮のJRA育成牧場の天幕馬場をお借りして、障害者の少林寺拳法栃木県連盟会長として、挨拶いたしました。ための馬事普及協会のデモンストレーションを行いました。中国拳法を集成した開祖・宗道臣師家の想いを、さらに新たにしていかなければなりません。



オリンピック期間中のための馬事公苑移転ですが、この障害者乗馬も含め、宇都宮に定着してもらえると有難いです。



第一回ツール・ド・とちぎでは県内320kmを3日にわたり駆け抜けます。自転車の栃木、自転車の宇都宮にまた一つビッグイベントが加わりました。



入党部科学部会では那須ファミリースキー場で発生した表層雪崩で、今後の調査や検証作業に真摯に全面的に協力すべしと述べたことを報告しました。二度とこのような惨事を起こさないよう、徹底的に検証しなければなりません。



栃木県保育推進連盟・日本保育協会合同総会が自民党本部で行われました。待機児童対策や保育士不足など問題が山積です。解決にむけて全力で尽くしていきます。



若年成人に関する特命委員会では博報堂の原田曜平さんに、いまどきの若者の行動や傾向を分かりやすく、講演してもらいました。若年成人対策に活かして参ります。



城山西小学校の孝子桜まつり。昨年は満開を過ぎてしましましたが、今年は早過ぎました。会場には、私が37年前に書いた色紙を大切に保存してくれた支持者もおられ、感無量でした。



故竹下登元総理大臣のお墓参りに、平成研究会の仲間とともに伺いました。「島根に生まれ、島根に育ち、やがて島根の土となる」はあまりにも有名な言葉です。ふるさと創生の原点を垣間見ました。



船田はじめを支援する青年の会の総会。私が政治活動をはじめてから、ずっと一緒に活動を支えてくれました。第7代目の宮崎会長から、第8代目の荒井会長に交代します。宮崎前会長長い間お疲れ様でした。



アジアで初めてのプラネタリー・ディフェンス・コンファレンスが、科学未来館で始まりました。来賓として拙い英語で挨拶しました。将来地球に衝突するかも知れない小惑星を発見し、警鐘と予防を推進する目的です。



衆議院議員会館で復興支援福島物産展が開かれました。私も喜んで協力させてもらいました。



第11回目の宇都宮花火。天候もなんとか持ちそうです。歴代の会長さんたちが、入場整理や交通整理をしているのには、いつも感心させられます。これが長続きの秘訣かも。



はじめ俱楽部女性の会新春の集いには、春を飛び越えて初夏の陽気の中、大勢の後援者が集ってくれました。



陸上自衛隊宇都宮駐屯地67周年式典では整然とした観閲行進が行われました。天候に恵まれましたが、北朝鮮情勢の緊迫化で、緊張した空気が漂っていました。

活動報告

ご質問、募集に関するお問い合わせは
「船田はじめ事務所」までお願い致します

【船田はじめ事務所】 ●住 所 宇都宮市一の沢1丁目2番6号 ●TEL 028-666-8735 ●FAX 028-666-8736
●URL <http://www.funada.org> ●e-mail fnd-info@funada.org